

主 旨

工芸皮革原料として水産皮革中最も珍重される海亀(タイマイ、アオウミガメ、アカウミガメ、オウガメ)は熱帯、亜熱帯に多く殊に南方海域では周年の採獲が可能である。海亀漁業は比較的小型の漁船で行い器種直仕の剥皮作業には長大な時間を要する、その為に実際漁獲時間の減少又は操業日数(或は出漁日数)の延長を免れない。近海ものを原料とする場合には、いずれもそれほど大きな障害とならないが遠方に出漁する場合には前者は稼働時間の低下、後者は原料の品質低下と共に悪い条件となる。そこで当研究所で剥皮作業を省き薬品を使用しての原料の塩蔵中の観察を行い併せて輸送に関する考察を行った。

1. 実施期間及び場所

実施期間 自1960年10月18日 至1960年11月28日 10日間

場所 当研究所

2. 薬品による塩蔵試験

A) 使用した薬品

ニトロフエタリリ酸アミド	40%	防腐剤として
アスコルビン酸	50%	水溶性酸化防止剤として
クエン酸	30%	酸化酵素抑制剤として

(以上三者の混合を「ホセン乙」と称し上野製薬より市販している)

B) 塩蔵の方法

漁船上の一次処理として簡便な塩蔵とした。

飽和食塩水18ℓに上記薬品10ℓを投入し、その中に原料を漬け込んだ頭部及び4肢を各々付根部より切断し、塩水中で血抜き洗滌を行い剥皮、切り込みを行わず丸のまま漬けた。同時に1肢のみ剥皮したもの及び肉壳も同時に漬けて同時に同一槽内に漬けた。原本には塩水中で浮上するので上蓋をし、重石をのせて均一に浸漬することを図つた。

3. 観 察

蛋白沈澱反応及び皮革破損率

日時	部 位 蛋白沈澱 皮革破損	頭 付根(頭)肉	肢 付根(肢)肉	剥 皮	肉 壳	経過日数
10月18日	—	—	—	—	—	18日
10月18日 10日後	0	0	0	0	0	10日
11月 7日 19日*	±	±	±	±	±	19日
11月17日 29日*	+	+	+	+	+	29日
11月29日 40日*	サ	サ	サ	サ	サ	40日